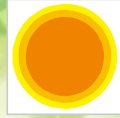


皆様方の想いを胸に **全力行動****県政報告**日本の
ひなた
宮崎県

ひなた通信

宮崎県議会議員

のざき

こうし

野崎 幸士**CHECK!**

ひなた通信 過去号はホームページでご覧いただけます

本報告書(ひなた通信)は年に4回行われます定例議会の内容と、日ごろの活動を皆様方にご報告いたします。県政がもっともって皆様方に分かりやすく身近に感じられるよう努めて参ります。



あいさつ

2023年「令和5年」新しい年を迎えました。

皆様方には、つつがなく新しい年をお迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より県政に対しまして多大なるご理解・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症についてであります。

年末年始を迎え、人流や接触機会増加した中で、リスクの高い高齢者等を感染から守るとともに県内の医療機能を維持していくために、令和4年12月27日に県独自の「医療非常事態宣言」を発令しました。

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行も起きているようです。続き感染予防の徹底を行っていただくことをお願いします。

次に昨年9月に甚大な被害を引き起こした台風14号であります。

浸水や停電、断水、道路の寸断等の日常生活への影響をはじめ、地域経済を支える農林水産業、商工業や観光業等様々な分野に甚大な被害を及ぼし、多くの負傷者や亡くなられた方もおられます。改めまして、謹んでお悔やみを申し上げますとともに被災された皆様にお見舞い申し上げます。

災害査定等の作業も進み、随時、復旧復興に向けての事業が進められます。

早期の復旧復興に向け、全力で尽力して参ります。

このように、長引くコロナ禍や昨年9月の台風第14号また、原油価格・物価高騰物価高騰等、本県は「百年に一度」とも言うべき難局に直面しております。

この難局を国・県・市町村としっかりパイプをつなぎながら、また国会議員・県議会議員・市町村議会議員とスクラムを組みながら乗り越える1年のスタートだと思えます。

一方、去年は、宮崎と神戸を結ぶ長距離フェリー「たかちほ」、「ろっこう」の新船2隻が就航したほか、本年3月までには、東九州自動車道が北九州市から日南市まで結ばれるなど、交通インフラの整備が着実に進展しています。

さらに、昨年10月に鹿児島県で開催された全国和牛能力共進会では、史上初めて4大会連続となる内閣総理大臣賞を受賞しました。

今年は、宮崎県が再置された1883年から数えて、140年目の節目の年となります。

2月には、「WBC侍ジャパン合宿」、4月には、「G7サミット宮崎農業大臣会合」、10月には、「宮崎県人会世界大会」が開催されます。

こういったことを最大のチャンスと捉え、本県の様々な魅力を国内外に発信し、インバウンドを含む観光振興や輸出促進など、グローバル戦略の展開を通じて経済成長につなげていかなければならないと思っています。

これからも、目まぐるしく動く社会情勢の動向を的確に見極め、今後も県政がもっともって皆様方に分かりやすく身近に感じられるよう、全力で活動してまいりますので、様々なご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

県民一丸となってワンチームで宮崎再生に取り組む1年だと思えます。

県民力を発揮していきましょう。よろしくお願い申し上げます。

宮崎県議会議員 **野崎 幸士**